

2022年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2023年 5月 8日

和光大学地域連携研究センター
センター長 倉方 雅行 殿

代表者氏名 高坂 康雅

研究プロジェクトの名称【 <input type="checkbox"/> 2022年度新規プロジェクト <input checked="" type="checkbox"/> （ 2019 ）年度からの継続プロジェクト】 * 上記にチェックしてください*					
大学を中心とした地域の不登校支援ネットワークの構築					
研究目的 本申請プロジェクトでは、大学を中心として、地域にいる不登校の子ども、不登校の子どもを抱える親・家庭、不登校の子どもの支援を行う者(教師、支援者など)、不登校など困難を抱える子どもの支援を行うことを志望している学生などが相互につながり、不登校に対する情報交流とより良い支援を行うための連携・協力を行うためのネットワークを構築することを目的とする。					
プロジェクト所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)					
高坂康雅	教				

<p>プロジェクトの概要（480字以内）（学内外に向けた分かりやすい表記で記載をお願いします。）</p> <p>本プロジェクトでは、適応支援室「いぐお〜る」の運営と町田市不登校の親の会「いぐぷらす」の開催を通して、不登校児童生徒及びその保護者に対する支援について検討していくとともに、学校、医療機関、フリースクールなどとの連携を深め、地域における連携・協力を行うためのネットワークを構築することを目的としている。</p> <p>適応支援室「いぐお〜る」の活動は、週2日行い、10名の不登校児童生徒を受け入れるとともに、その保護者からの相談に応じ、助言・援助などを行った。</p> <p>町田市不登校の親の会「いぐぷらす」はコロナ禍もあり、1回の開催にとどまったが、15名程度の参加があり、不登校の子をもつ親同士の情報共有・交流を行った。</p> <p>さらに、町田市教育委員会が開催したフリースクール等連絡会に参加し、適応支援室「いぐお〜る」の活動を紹介するとともに、他のフリースクールの活動を把握し、また町田市の不登校の現状や不登校支援のあり方について意見交換を行った。</p> <p>今後は学校などとの連携を深めて、不登校になっても充実した生活が送れるようなネットワークの構築が求められる。</p>

研究活動の経過（800字以内）（打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。）

①適応支援室「いぐお〜る」の運営

2022年4月11日（月）より毎週月曜日・火曜日の週2回、9時30分から15時30分の6時間、適応支援室「いぐお〜る」を開室し、地域の不登校児童生徒10名程度の支援及び保護者・関係者等への助言を行った。

②町田市不登校の親の会「いぐぷらす」の開催

2023年1月21日（土）にぼっぽ町田にて開催し、15名程度の不登校の子をもつ親が参加し、交流・情報交換を行った。

※当初予定では2022年度に4回開催予定であったが、コロナ禍のため1回の開催にとどまった。

※町田市不登校を学ぶ会「いぐあるふぁ」は開催できなかった。

③町田市教育委員会フリースクール等連絡会への参加

2022年11月30日（水）及び2023年3月24日（金）に町田市教育委員会で行われたフリースクール等連絡会に参加し、適応支援室「いぐお〜る」の活動などについて紹介するとともに、他のフリースクール等の代表者・スタッフなどと懇談を行った。

研究成果の概要（1000字以内・写真が複数ある場合は、600～800字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

本プロジェクトの2022年度の主な活動は適応支援室「いぐお〜る」の開室と、町田市不登校の親の会「いぐぷらす」の開催であった。しかし、コロナ禍のため「いぐぷらす」の開催は1回にとどまった。

適応支援室「いぐお〜る」は2022年度も週2回の開室となり、月曜日5名、火曜日5名の不登校児童生徒を受け入れ、大学生・大学院生などのスタッフとの交流を通じた活動を行った。継続して開室することで、不登校児童生徒の居場所として機能するとともに、対人コミュニケーションや適応に関して一定の支援が行えた。同時に、保護者に対しても継続的な面談を行い、通室生のアセスメントやそれをもとにした助言等も行った。適応支援室「いぐお〜る」は、不登校支援の重要な資源として、町田市のなかでも認知されてきている。町田市教育委員会のスクールソーシャルワーカー（SSW）や各学校に配置されているスクールカウンセラー（SC）からの紹介も多く、また多摩市、横浜市などからも通室・問い合わせ等がある。これらから、現在の活動を継続することが、不登校状態・傾向の児童生徒とその保護者、学校、地域においても求められていると考えられる。

また町田市教育委員会によるフリースクール等連絡会に参加し、適応支援室「いぐお〜る」の活動を紹介した。また、町田市の不登校の現状や不登校支援のあり方などについて意見交換をするとともに、他のフリースクールの活動を把握した。ここで得た情報については、今後の適応支援室「いぐお〜る」の活動に生かしていく。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2022年4月～2023年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

町田市教育委員会(2021). 「不登校のための対応マニュアル(町田市不登校対応ガイドライン)」

※「2 フリースクール情報」に適応支援室「いぐお〜る」が掲載されている

【留意点とお願い】

- 報告書は、地域連携研究センターの「報告集」として発行予定です。学内外へ配付・公表し、広報媒体としても使わせていただきます。報告集作成時に、校正をお願いすることになりますが、ご協力をお願いします。
- 文言は「である」調で、学外の方にも分かりやすい表現をお願いします。
- 報告書の他、報告集に掲載可能な写真（複数枚）や図表の提出をお願いします。写真等は、ワードに張り付けず、別データでご提出をお願いします。写真や図表にはキャプションを入れていただくようお願いします。
- 報告書の提出期限：2023年4月30日（日）
提出先：企画室（担当：堀口） kikaku@wako.ac.jp